

道路ネットワークの充実

◆ 都市計画道路の整備

【道路建設課】

1 事業の目的

都市間・地域間交通の円滑化や安全性・利便性を確保するため、都市の基盤となる街路網を整備する。

2 事業概要

路線名	施工箇所	延長 (m)	幅員 (m)	事業期間
宇都宮水戸線(大寛)	大寛2丁目ほか	810	25	H9～H21
泉ヶ丘線	御幸町, 岩曽町ほか	1,049	16～32	H9～H24
鶴田宝木線	鶴田町ほか	780	18	H7～H23
産業通り(陽南)	陽南2丁目ほか	479	25	H14～H26
宇都宮日光線(一条)	一条3丁目ほか	696	18～19.5	H14～H29

3 事業スケジュール

路線名	21年度事業内容	事業費 ベース 進捗率 (20年度末)
宇都宮水戸線(大寛)	電線共同溝引込管等工事, 舗装工事, 道路照明工事	97.8%
泉ヶ丘線	JR線工事負担金, 土地使用料, 調整池工事, 橋梁工事, 用地買収, 物件補償 等	84.8%
鶴田宝木線	—	89.1%
産業通り(陽南)	用地買収, 物件補償 等	14.0%
宇都宮日光線(一条)	用地買収, 物件補償 等	8.8%

◆ スマートＩＣ設置事業

【道路建設課】

1 事業の目的

従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できるスマートＩＣは、高速道路の利便性と地域間の連携が期待できることから、本市においても、交通ネットワークの充実や地域の活性化のため、スマートＩＣの導入を進める。

2 事業概要

平成19年4月1日から24時間ハーフインター方式(上り線ETC入口・下り線ETC出口)で本格導入された上河内スマートICにおいて、フルインター化(上下線ETC出入口)に向け、接続道路の下り線を宇都宮市で、上り線を栃木県で役割分担し整備を進めている。

また、新たなスマートICの設置についても検討する。

◇上河内スマートICのフルインター化

- ・接続道路 : 市道13371号線
- ・整備計画延長 : 450m
- ・幅員 : 7.5m
- ・市事業費 : 222,000千円

内 容	整 備 前	整 備 後
運 用 形 態	ハーフインター方式 上り線(東京方面)ETC入口 下り線(福島方面)ETC出口	フルインター方式 上下線ETC出入口
対 象 車 種	軽自動車, 普通乗用車, 二輪車	軽自動車, 普通乗用車, 二輪車 大型車
利 用 条 件	ETCの搭載車	
運 用 時 間	24時間	

◇新たなスマートIC設置の検討

東北自動車道宇都宮IC～鹿沼IC間において新設の検討

3 事業スケジュール(上河内スマートIC)

- 平成20年度 用地買収・工事
- 平成21年度 工事, 事業完了
- 平成22年度 供用開始予定

◆ 宇都宮市道路見える化計画の推進

【土木管理課】

1 事業の目的

公共事業の透明性の確保, 説明責任が求められる中, 道路整備を計画的かつ効果的に行い, 市民にわかりやすいみちづくりを目指すため, 平成20年3月に策定した「宇都宮市道路見える化計画」に基づき, 事業を推進する。

2 事業概要

本市の道路が抱える「事故」や「渋滞」等の課題について, 「宇都宮市道路見える化計画」で抽出した移動性向上6箇所, 安全性向上8箇所に対し有効な対策を講じ, 課題解決を図る。

3 事業スケジュール

- 平成19年度 ・計画策定
⇒市民アンケート調査，事故（渋滞）状況調査により要対策箇所を抽出
- 平成20年度 ・「宇都宮市道路見える化計画推進懇談会」の設置
⇒課題や成果のデータ検証，対策の追加・見直しなどの継続的な取組み
に対し，進捗管理や評価などを行った。
・これまでの取組みと成果についてパンフレットの作成配布
- 平成21年度～ ・代表的な対策箇所の対策実施
⇒既に計上されている対策を円滑に実施するため，効果的な取組みにつ
いて検討を行う。
⇒見える化の継続的な取組み(PDCAサイクルの実践)を推進するため，
「宇都宮市道路見える化計画推進懇談会」において，進捗管理・評価な
どを行う。（今年度の「成果パンフレット」作成）